



HIV陽性者が COVID-19に罹患すると、 そうでない人より症状が 深刻になることがあります。 また、併存症の確率も 高まることがあります。

薬を処方してもらうために HIVクリニックを 繰り返し訪れることも、 リスクになります。





鍵を握っているのは コミュニティです。 たくさんの HIVプログラムを 再建してきました。





HIV対策に 取り組むコミュニティは、 COVID-19との闘いに 直ちに動き出し、 いまも活動を 続けています。



人びとの ワクチンを求める運動は 日に日に強化 されています。





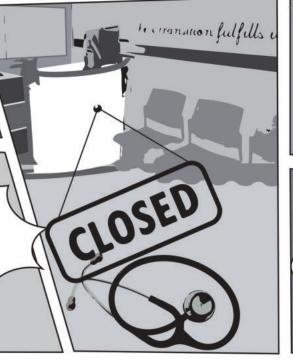
## HIV治療が 受けづらくなりました。

初期のロックダウンにより、 HIV陽性者は家から離れて 治療を受けることが できなくなりました。



HIV治療を 受けようと思えば 大変です。

HIV検査サービスも 打撃を受けています。 HIVの新規感染の診断が できません。



ウイルス量測定検査の普及も 世界中で止まっています。

メンタルヘルスケアの 支援サービスも 中断されています。

UNAIDSと パートナー機関は、 ロックダウンの影響を 受けているHIV陽性者に 連絡を取り、HIV治療を 受けられるよう 支援しています。







HIV自己検査、治療薬の複数月調剤、 情報と支援を提供するための遠隔医療と バーチャル・プラットフォームなどの利用が進み、 コロナ対策の初期段階に発生した HIVサービス提供の遅れを カバーしてきました。

## HIV予防プログラムも 妨げられています。



COVID-19の流行で 学校に通えない 子供が増えました。 教育によって 子供の健康と福祉が 守れるのに、 それができず、 子供たちの多く、 とりわけ女の子の HIV感染リスクが 高くなっています。

刑務所に入っている人は 世界全体で1100万人を 超えています。 釈放される人もいるので、 拘束される人は 年間で3000万人に 達しています。 この人たちは COVID-19の予防のために 推奨されている方法に がうことができずに いるのです。



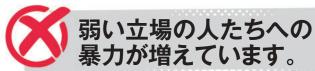


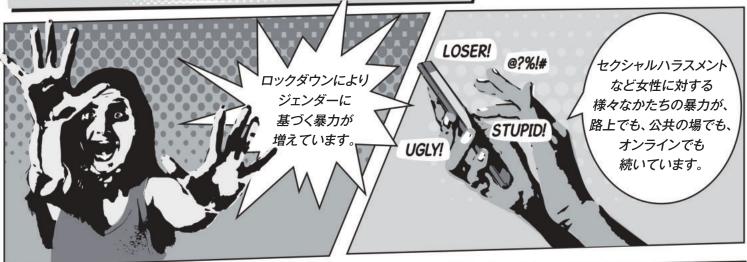


薬物を使用する 人たちが集まり、 生活している場所で、 ハームリダクション・ サービスが 受けられるように しています。



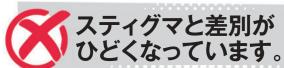














スティグマと差別が 拡大しています。 COVID-19を広げるといった 不当な非難を受けている キーポピュレーションも あります。





口実に使われています。







食品や衛生用品が、 最も弱い立場にある人たちに 配布されています。









UNAIDS Joint United Nations Programme on HIV/AIDS

20 Avenue Appia 1211 Geneva 27 Switzerland

+41 22 791 3666